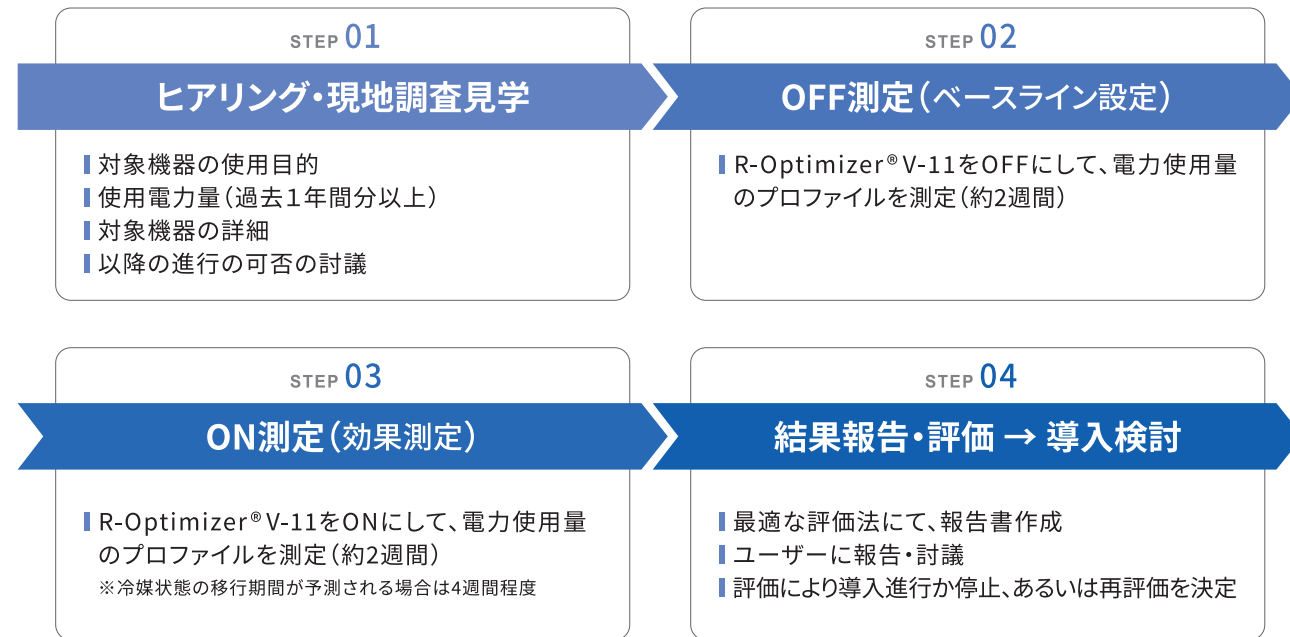


導入までの流れ

実際の効果を測定、検証した上で、導入をご検討いただけます。



[R-Optimizer®V-11と従来品の比較]

	信号強度	R-Optimizer®1台で対応可能な冷媒量*1	接続可能な空調システム数*2
従来品	100(相対値)	約20kg	2
R-Optimizer®V-11	150(1.5倍)	約30kg	3

※1 設置条件により変動することがあります。当社又は当社代理店の担当者にお問合せください。
※2 空調の稼働状態によって変動しますが1台当たりの総冷媒量を10 kgとした場合。

[仕様]

R-Optimizer®V-11本体	約125×100×35mm
ADコンバーター	約75×60×30mm
消費電力	AC100～240V 50Hz/60Hz 3W以下

R-Optimizer®V-11の効果がでないケース

- 極性の低い冷媒を使用している場合
 - 接地の抵抗値が極めて小さい場合
 - 機器に不具合がある場合
 - 冷媒充填量、圧縮機及び定格能力に対してR-Optimizer®V-11の取付台数が適正ではない場合
- ※事前に内容を確認する為に導入テストを実施します

[海外拠点]

SUBARU(台湾) 昴盛科技有限公司
Pleiades Technology & Company (Taiwan)
No.1 Liutun 7th st., Douliu City, Yunlin County 64069, Taiwan
TEL (+886) 5-557-2283 FAX (+886) 5-557-3183

R-optimizer™は昴テクノロジー株式会社の登録商標です

[製造・発売元]

昴テクノロジー株式会社
千葉県流山市南流山1-7-10-601
TEL:04-7157-1061 FAX:04-7157-1063
<https://pleiades-techno.com>

空調電力の削減に



冷媒改質システム

R-Optimizer® V-11



昴テクノロジー株式会社
Pleiades Technology & Company

R-Optimizer® V-11は電子の力で、空調機の冷媒最適化を図り、電力使用量の削減を実現します。

R-Optimizer V-11

特長



詳細はこちら↑

01 約10%~20%の電力使用量削減

R-Optimizer® V-11で冷媒の熱交換効率、流動性が改善されると、設定温度への到着時間が短縮し、コンプレッサの運転時間や回転数が減少することで、消費電力の削減を実現します。

02 既存設備のままで設置が可能 (AC100VあるいはAC200V電源が必要)

大規模工事不要で簡単に設置できます。

03 設備の負荷を軽減

コンプレッサの負荷が低減することで、設備寿命の延命が期待できます。

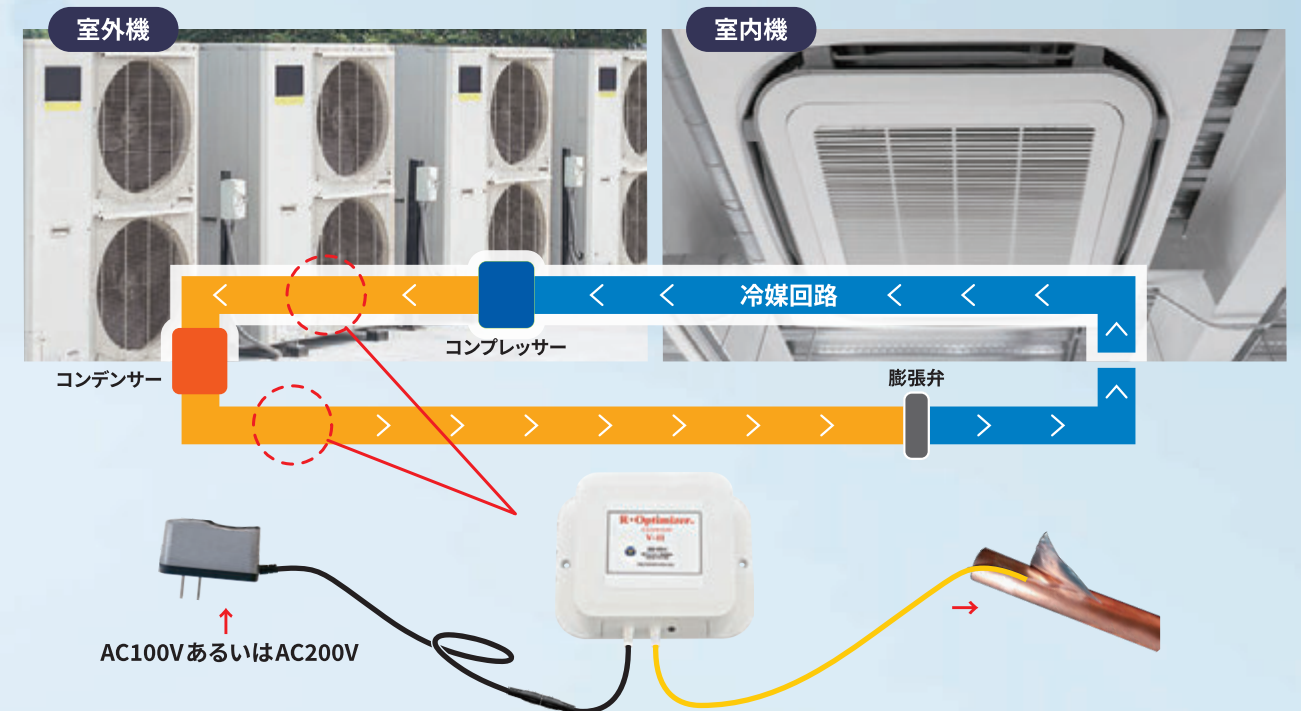
04 CO₂削減に貢献

消費電力の削減効果で、CO₂の削減にもつながります。



R-Optimizer V-11

設置方法



室外機にR-Optimizer® V-11の電極を設置し、ワイヤー出力端を冷媒管の金属部分に接合するだけで使用できます。

冷媒回路の クラスター化したフロンを 自由電子で分解

R-Optimizer® V-11は冷蔵冷凍空調機のエネルギー効率を大幅に改善する機器です。節電原理は、R-Optimizer® V-11が冷媒管内に大量の自由電子を供給し、極性冷媒のクラスター(塊)を最小単位にすることによって、流動性を改善し、熱交換効率を増大させ、コンプレッサ動力を抑えることにより、電気効率を上げることが出来ます。

冷媒回路内のR410 A(フロンガス)のイメージ



(特許第6906213号)

R-Optimizer

導入事例

空調機の平均電力の削減(10-20%)実績があります。 ※導入済み会社70社から平均削減率を算出

